

雨あがる

監督：小泉堯史 Takashi Koizumi 脚本：黒澤明

Report by Y.H

ログライン

腕が良いために、人から疎まれて、社会の中でうまく生きられず、職を転々としかけ試合で細々と生計を立てる不器用で貧乏な浪人、三沢いへいの妻、タエ。夫が新しい殿様に腕を認められ剣術の指南番として内定し喜んでいるのだが、いつものようにうまくいかないのではと不安と、夫を思い悲しみに暮れている。案の定いつものように夫の内定が取り消された時、タエは夫の不器用さの中に本当の意味の優しさを見出し、理解できなかった自分を恥じるのだった。

プレミス

豪雨で足止めを食らった貧乏人たち。彼らはどうなるのか？雨はいつあがるのか？雨が上がるとどうなるのか？

主人公

三沢いへいの妻、タエ

(一見、三沢いへいが主人公のように見えるがキャラクターアークと自主性がタエほどない)

物理的な旅・葛藤 **EXTERNAL JOURNEY ▪ CONFLICT**

夫が社会で認められることを望むタエ。夫の出世のチャンスが訪れるのだがやはり上手くいかない

心理的な旅・葛藤 **INTERNAL JOURNEY ▪ CONFLICT**

夫の本当の良さを受け入れようとしてきたができなかった妻が、本当の優しさを知る

第一幕

- ・問題意識 豪雨で皆、金と食に困っている。3:50
妻に苦労ばかりかけている。食を振る舞うため妻の約束を破りかけ試合をしてきた。
- ・コール 夫が約束を破ってかけ試合をしたこと。15:00

プロットポイント1

- ・第一関門 夫が殿様に呼び出される。
- ・物理的旅の始まり

第二幕

- ・葛藤と危険度 夫が指南番のオファーを受けて帰ってくる。

ミッドポイント

- ・最大の試練 指南番のテストを夫が受けに行く。

第二幕 つづき

- ・葛藤と危険度UP
- ・Complication

プロットポイント2

- ・最大の関門 (恐怖や報酬) タエは内定取り消しに落ち込む夫を静かに受け入れる。

第三幕

- ・敗北
- ・後退
- ・カムバック
- ・クライマックス タエは内定取り消しを伝えにくる城の者に「木偶の坊」呼ばわりする。
- ・復活&浄化 夫と川を渡る
- ・宝を持って帰還
リターン 夫と山を登りきり海を見つめる。

用語など

A	Aストーリー	メインプロットラインのこと
B	Bストーリー	サブプロットラインのこと
C	キャラクターアーク	英雄の物理的または心理的変化の振り幅。
D		
E		
F	FS / FORESHADOWING	前兆・予知
G		
H		
I		
J		
K		
L	ログライン	数行で物語を伝える。主人公と葛藤が含まれる。
M	ミッドポイント	後戻りできない人生の大きなターニングポイントや折り返し地点
N		
O		
P	プレミス プロットorターニングポイント	次を予感させる。疑問をいだかせる仕掛け。「もし~したらどうなる？」 ストーリーの最後にこの問いの答えがあるように感じる。 英雄が自主的に選択や決断をする。